

「Salvo がん哲学カフェ」開所にあたって  
Salvo がん哲学カフェ神楽坂 高島 恵子

一昨年 12 月 12 日、神楽坂の救世軍新光館を会場にカフェを開所しました。

2018 年 4 月に私は突然、膵臓がんを告知され、手術と抗がん剤治療し、患者会に参加したものの、膵臓がんの治療や経過、仲間の感情の厳しさにショックを受けました。そして安心して話せる場を探したどり着いたのががん哲学カフェでした。

以来多くのカフェに参加し、どんな状態の自分でも居られて、励まされ慰められ、笑ったり泣いたり静かに聴いたり出来る、また来たいと思う場所、繋がりは生きる力になり希望になる事を経験しました。

このようなカフェを教会でもしたいと「目白カフェ」の森尚子代表に話したところ、アドバイスを頂き、カフェで出会った各カフェの代表に次々とお手伝いの申し出を頂きました。

当初予定していた教会がコロナ禍という事もあり開所の見通しが立たなくなりましたが、諦めたくないと思いついて決断し、1 か月半後に神楽坂での開所になりました。

参加者がそれぞれの想いを話す時はその人のいのちや存在が語られているのだと思っています。故にお話を聴かせて頂く時は隣に座らせて頂き、そのお心に自分が入らせて頂いている事に感謝しつつカフェを続けて行きたいです。

コロナ禍でのがん哲学外来  
金沢がん哲学外来 長谷部孝美

新年おめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、対面でのがん哲学外来の開催中止を余儀なくされた年でした。感染予防のためマスクを着用する新しい生活様式では、人と距離をとることが重要とされました。また自らが感染することは周囲を巻き込むことになり得ます。当然様々な活動は自粛となりました。

「金沢がん哲学外来」では、5 月より定例会をオンラインではじめました。オンラインとはいえ、久しぶりにスタッフの顔を見ることができた時のほっとした思いは今でも覚えています。そして、スタッフの方々の尽力により、令和 2 年 9 月の「第 37 回金沢がん哲学外来」には佐久総合病院の北澤彰浩先生をお招きし、ZOOM によるオンライン開催が出来ました。その会はオンラインでの実験的取り組みのため非公開での開催ということもあり、会員を中心とした少人数での開催でした。

同年 11 月には「第 38 回金沢がん哲学外来」として一般の方々に募集を呼びかけたところ、申し込みの時点で 100 名を超える参加希望がありました。無事開催を終えることが出来、新しい活動の形となりました。

それでも、やはり人と人が対面で接し、他者に触れ、その悲しみに触れ、その心に寄り添う場としての役割はネットを利用したオンラインだけでは十分とは言えません。日常から離れた「がん哲学外来」という場所は人が自らを客観的に見つめるための場として成り立つのだと感じました。人が対面するということを感じる温かさやその悲しみの温度、紡がれるご縁というのはその場に居て体感するものなのだという事も感じた 1 年でした。

そういった場作りが今は出来ないことは仕方がないと思いつながらも、残念でなりません。そして、今は同じ会場に集うことができなくても、その心を持つ方々は大勢いるのだということもオンライン開催を経て実感しています。

今はカフェを持った対面の外来が再び開催できる日まで、それぞれの与えられた場所の中で熟成し、その日を待ちたいと願っています。

がん哲学外来メディカルカフェ

Salvo がん哲学カフェ神楽坂

日時 2020 年～2021 年

12 月 12 日 (土)

1 月 27 日 (水)

2 月 24 日 (水)

3 月 24 日 (水)

いずれも 10:00～12:00

参加費 300 円



場所：救世軍新光館 地下 1 階

〒162-0803 東京都新宿区赤城下町 87 番地  
(地下鉄東西線「神楽坂駅」徒歩 2 分)



「がん哲学カフェ」とは  
がん患者様、ご家族、ご遺族、医療関係者が  
思いを聞き合い自由に語り合う場です。  
重かった心や、折れそうな心が、軽やかに  
なり、帰ることができ、また来たい場所  
となるよう目指しています。

新型コロナウイルス対策のため検温とマスク着用をお願いします。また感染者が出た時のために、名前と連絡先の記入をお願いします。個人情報上記の目的以外には使用しません。

主催：救世軍新光館 後援：一般社団法人がん哲学外来

【申込・お問合せ】Salvo がん哲学カフェ神楽坂 [salvocafe@oujilock.jp](mailto:salvocafe@oujilock.jp)

Tel 03-5860-2818 FAX 03-5860-2819 (高島)

＜編集後記＞

- ・2021 年新年号をここにお送りすることが出来ました。とにかく嬉しいです、ほっとしています。
- ・「Salvo がん哲学カフェ神楽坂」の高島様からは早々と原稿をいただいていた。このニュースレターを発行する前に何とか都合をつけて神楽坂カフェを訪問したい、取材もさせてほしい。そう願いつつも残念ながら実現できませんでした。
- ・コロナウイルス。これほどまでに拡散していくとは思ってもみませんでした。日常生活がじわじわと狭められていく不安もあります。また、カレンダーの予定欄の空白を見ていて何だかぼおとしてしまう自分もいて困っています。
- ・しかし、がん哲学外来研修センターニュースレター 148 号を発行して勇気百倍する自分を発見しました。次号は今月末頃にお送りできると思います。(星野)